報道機関各位

我孫子市
Abiko city

令和8年11月4日
報道提供資料

地域協働型探究学習プログラム「中央学院あびこプロジェクト(CAP)」市長が授業で生徒へ市の魅力などを語る

市は、中央学院高等学校（我孫子市都部765）が今年度から新たに実施する「地域協働型探究学習プログラム」への協力として、市長及び職員が第1回のスタートアップ授業に講師として参加します。

探究学習プログラムは、地域の魅力や課題を、生徒が自分の目と耳で発見し、地域貢献・探究スキルを向上させることを目的としており、「我孫子を知る」をテーマに実施するにあたり、協力の依頼がありました。中央学院高校からは、「生徒の多くは市外から通学しているものの、市について知っていることは駅や学校周辺などごくわずかとなっている」というお話があり、市としては今回の探究学習プログラムを通じて、3年間通学する学校がある我孫子市の魅力や課題について、生徒自身がもっと関心を持ち、愛着を抱いてほしいという思いから、協力に至りました。

【授業実施概要】**※当日の取材をご希望の場合は、事前に学校へご連絡ください。**
日時：令和8年11月11日（水）午後3時20分～4時30分
場所：中央学院高等学校
参加生徒：1年生進学コース（約205人）
内容：①「我孫子市の推しと課題」 ②「我孫子市の今」 ③「我孫子市をつくってきた風土」
講師：星野　順一郎　市長
　　稲村　隆（教育委員会　生涯学習部　文化・スポーツ課職員）
協力：一般社団法人　Eureka　coco（代表：澤田　直子）

◎地域協働型探究学習プログラム「中央学院あびこプロジェクト（CAP）」

1年生を対象に、我孫子市全域をフィールドとして実施する新しい探究学習プログラムです。今回は、約1年間をかけて、生徒が農業・歴史・環境・福祉など10の分野で、フィールドワークや市内の店舗・団体・行政・企業等に直接インタビューを行うことで、地域の魅力と課題を発見し、課題解決のための提案を生み出すことを目標としています。

【問い合わせ】
◎CAPについて
中央学院高等学校
担当：多藝（たげい）
電話：04−7188−1011
◎市の協力について
我孫子市　市民生活部
市民協働推進課　担当：辻
電話：04−7185−1148